

横こだち仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジヨリパット材 JQ-650 シリーズ

ジヨリパット材ノンフリーズ JQW-650 シリーズ

【初版】平成17年12月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

<使用材料>

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-560	水性タイプアクリル系 1液型透明シーラー	16kg/缶	約 80~106 m ² /缶
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約 75~100 m²/缶</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系カチオンシーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約 80~106 m²/缶</u>
主材	<u>ジョリパット材 JQ-650 シリーズ</u> <u>(ジョリパット材ノンフリーズ</u> <u>JQW-650 シリーズ)</u> <u>標準色</u> <u>JQ(W)-650T□□□□</u> <u>(□…数字)</u> <u>特注色</u> <u>JQ(W)-650△○○○</u> <u>(△…英字、○…数字)</u>	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ ペール缶	約 7 m ² /缶

※使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

※ジョリパット材ノンフリーズの使用目安温度は-6℃~10℃です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

※セーフシーラー JS-800 は 2kg×2 個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約 20~25 m²/セット)

<主な施工道具>

- ・リシガン又は金ゴテ（下塗り）
- ・マスチックローラー（JR-20：9 ｲﾝﾁ）又は、ウールローラー（JR-61：7 ｲﾝﾁ）又は金ゴテ（配り塗り）
- ・専用竹ぼうき（JR-62）
- ・ヘッドカットローラー（平面用 ジョリパットローラー JR-26）
（隅用 ジョリパットローラー JR-27）

<下地調整>

下地は、モルタル金ゴテ押さえ（平滑）として下さい。

下地によっては使用できないシーラーもありますので、詳しくは弊社最寄の支店までお問い合わせください。

<横こだち仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-560	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1' JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1" JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗布量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

※下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。
3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

- ・ 金ゴテで下塗りする場合は、JQ(W)-650を無希釈でリシンガンで下吹きする場合は、JQ(W)-650を水で10%希釈してから、1.0kg/m²となるよう塗布する。

夏期 4時間以上
冬期 12時間以上
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

- ・ 塗装業者の場合、マステックローラー又はウールローラーにて約2.0kg/m²のJQ(W)-650を塗り、上下・左右にローラーを転がしムラを切り、均等に材料を配る。
- ・ 左官業者の場合、金ゴテにて約2.0kg/m²のJQ(W)-650を均一に塗りつける。

追いかけ (5分以内)

4. パターン付け

- ・ 配り塗りした主材が乾燥しないうちに、パターン付け専用竹ぼうき JR-62 で軽く押さえる様にし、左端から右へ引いてパターン付けをする。(右端部が入隅等の場合は前もって右から左にパターンを付けておく)。
- ・ 塗り継ぎの部分は、出来るだけ JR-62 の目を合わせ、1 回ごとに位置を変え、ちどりに塗り継ぎをし、一カ所に集中しないようにする。
- ・ JR-62 は水で常に濡らし、ホウキに付着したジョリパットはその都度 (頻繁に) 取り除く。

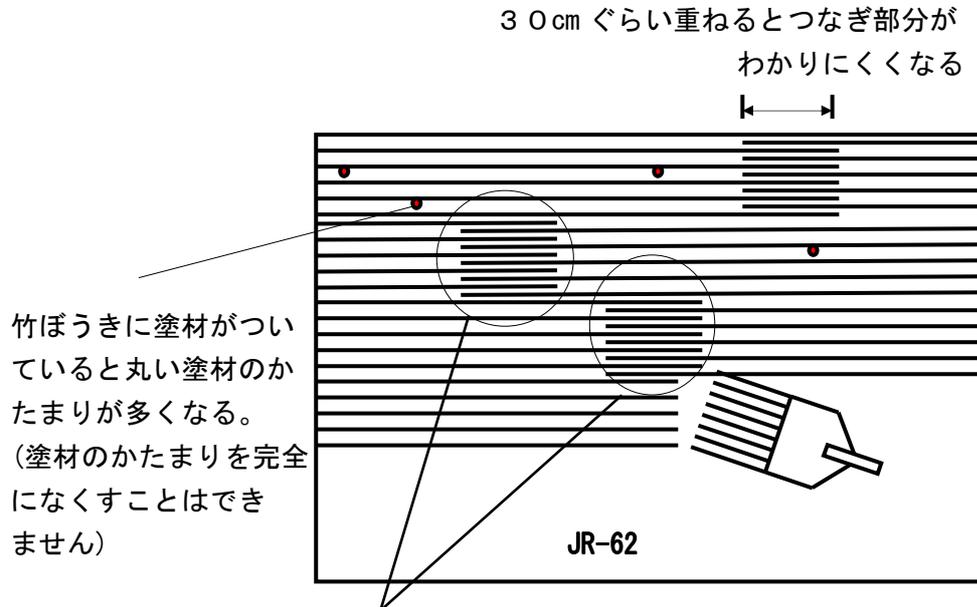
追いかけ (5分以内)

5. ヘッドカット

- ・ 灯油に浸したカットローラー (JR-26, 27) で軽く押さえる。

<施工のポイント>

- ・竹ぼうきを壁面に対して斜めにあて、JQ-650の表面を軽く削る。一つのパターンの長さは1m程度で、パターンをつなぐ時は、先に付けたパターンに30cm程度重なるようにする。(図-1、2)



パターンのつなぎはちどり状にする。(同じ箇所につながない)

図-1

塗り継ぎ部

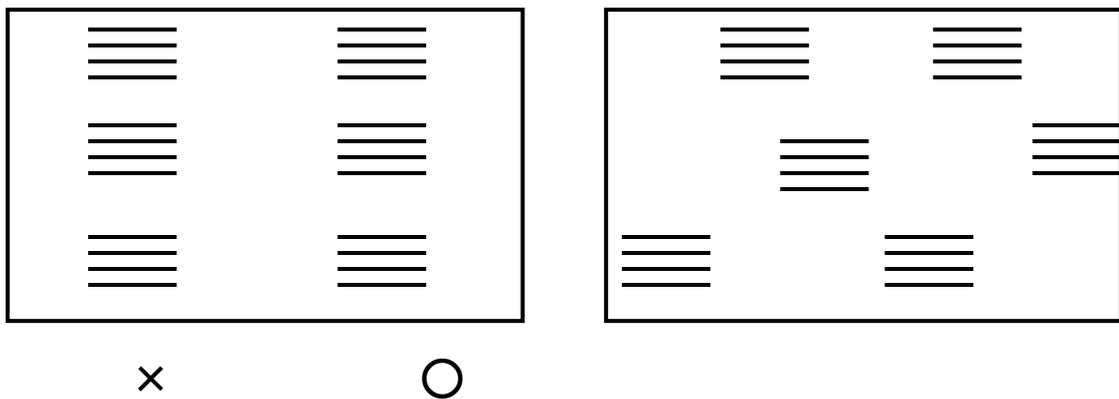


図-2

JQ(W) 650-64-01
(JQ(W) -650 横こだち)

- ・竹ぼうきの先端に付着したJQ-650は、濡れウエスなどで取り除き、常にきれいに保つ。
(JQ-650の玉が壁面に残りにくくする為)
- ・配り塗りはできるだけ均一に配って下さい。配り塗りが不均一の場合、パターンにムラが出る場合があります。
- ・竹ぼうきは必ずJR-62を使用して下さい。他の竹ぼうきではパターンが出ない場合があります。
- ・塗布量が少ない場合、溝が浅くなり、パターンがはっきりとでなくなります。

<直線模様を施工する場合>

◎目安となる基準線を出す

1. JQ-650を全面下塗りした後、乾燥してから基準線を出す為、墨出しを行う。
2. 墨出しの線に沿って、釘を等間隔に打ち込み、水系を張って基準線を出す。(図-3)

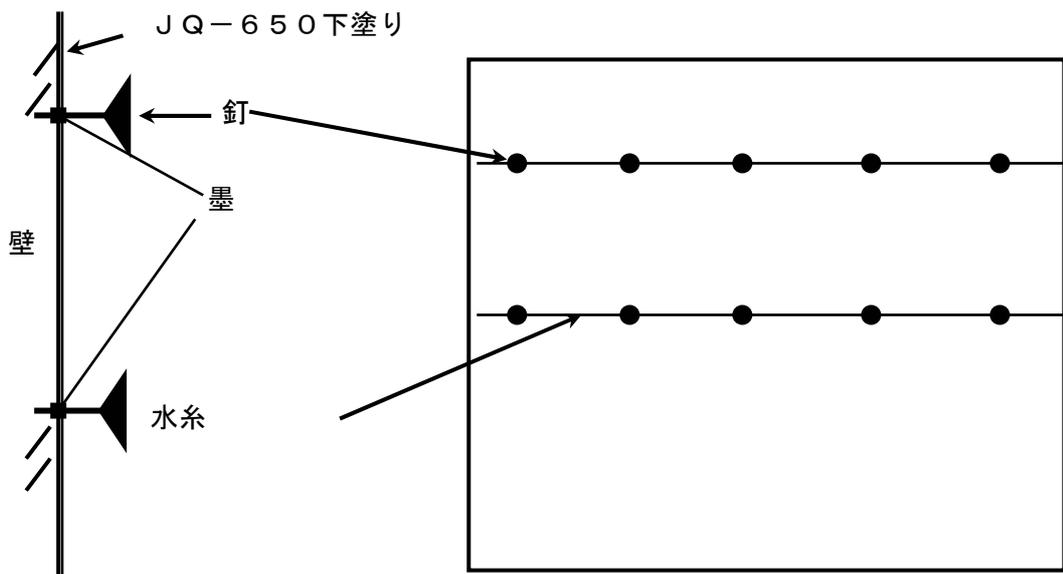


図-3

3. 水系に沿ってパターン付けを行う。釘の穴は、JQ-650をタッチアップして埋める。

<施工の注意事項>

- ・ 施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・ 乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・ 塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。
- ・ JQ-650 を使用される場合、気温 5℃以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・ 冬季の 5℃以下での施工の際は、ジョリパットノンフリーズ JQW-650 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS-410 をご使用下さい。
しかしながら、-6℃以下、降雨、降雪などの条件下では JQW-650 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・ シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・ シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・ 施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・ 商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上